

映画「シェーナウの想い」上映会＆トーク ドイツでの出会いからサステナブルな日本に向けて

【日時】 2012年6月18日(月) 18:30～20:30
【会場】 東京ウィメンズプラザ 視聴覚室 (東京・青山)

ドイツ南西部「黒い森」の中にある小さな町、シェーナウ。1986年のチェルノブイリ原発事故をきっかけに、「子どもたちに原発のない未来を」と立ち上がった市民グループがありました。大電力会社と戦う小さな町の運動は、全国各地のエネルギー・シフトを求める市民に勇気を与え、支援の輪が広がりました。そして、1997年、ドイツで初めての自然エネルギーのみを供給する市民のための市民による電力会社が設立されました。脱原発と再生可能エネルギーで、今や世界をリードするドイツの根底には、無数の市民による社会を動かす力強い行動があったのです。

FoE Japanでは、こんなドイツの市民との出会いを原点に、サステナブルな日本をめざして市民力を育むための活動を継続しています。

今回は、このシェーナウの活動を描いたドキュメンタリーを上映し、ドイツ在住ジャーナリストの田口さんとお話ししながら、サステナブルな日本に向けた市民社会の動かし方について考えます。



【プログラム】

◇映画 「シェーナウの想い～自然エネルギー社会を子どもたちに」上映

◇トーク 「シェーナウでの出会いからサステナブルな日本に向けて」

田口 理穂 さん (ジャーナリスト、ドイツ語通訳)

瀬口 亮子 (FoE Japan 理事)

◇FoE Japan ドイツツアーのご紹介

※会場にはドイツのお菓子をご用意しております。

【参加費】 500円

【参加申込み】 下記のウェブサイトからお申込みください。または以下の連絡先にご連絡ください。

<http://www.foejapan.org/sustainable/germany/event/120618.html>

国際環境 NGO **FoE Japan**

〒171-0014 東京都豊島区池袋 3-30-22-203

TEL: 03-6907-7217 FAX: 03-6907-7219

<http://www.foejapan.org>

E-mail: lifestyle@foejapan.org

【映画の概要】

「シェーナウの想い～自然エネルギー社会を子どもたちへ」
(あらすじ) ドイツ南西部、黒い森のなかにある小さなまちシェーナウ市。チェルノブイリ原発事故後、シェーナウの親たちが、子どもの未来を守るために、自然エネルギーの電力会社を自ら作ろうと決意する。



2008年ドイツ製作

翻訳: 及川齊志(2012年)

上映時間: 60分

【トーク出演者プロフィール】

田口 理穂(たぐち りほ)

ジャーナリスト、ドイツ語通訳。日本で新聞記者を経て 1996 年よりドイツ・ハノーファー在住。州立ハノーファー大学を卒業、社会学修士。「オルタナ」「WEB RONZA」「婦人公論」などの媒体でドイツの環境・教育・社会情勢などについて執筆。2002 年の開始時以来、FoE Japan のドイツスタディツアーの通訳・コーディネーターを務めるなど、視察、テレビ取材などの通訳・コーディネート業も手がける。共著に「『お手本の国』のウソ」「ニッポンの評判」(ともに新潮新書)。



瀬口 亮子(せぐち りょうこ)

FoE Japan 理事。2002 年より FoE Japan スタッフとなり、広報、温暖化政策、廃棄物・3R 政策などを担当。2002 年 2 月にドイツのエネルギー・シフト調査でシェーナウも訪問。このときのドイツの人々との交流が、その後の活動の原点になっている。



【会場案内】

東京ウィメンズプラザ (〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-53-67)



JR 山手線・東急東横線・京王井の頭線: 渋谷駅下車徒歩 12 分

地下鉄銀座線・半蔵門線・千代田線: 表参道駅下車徒歩 7 分

都バス(渋 88 系統): 渋谷駅からバス 4 分青山学院前バス停下車徒歩 2 分